

氏名	原 田 誠 之
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第3411号
学位授与の日付	平成11年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	PRODUCTION OF INTERLEUKIN-7 AND INTERLEUKIN-15 BY FIBROBLAST-LIKE SYNOVIOCYTES FROM PATIENTS WITH RHEUMATOID ARTHRITIS (慢性関節リウマチ患者における線維芽細胞様滑膜細胞による インターロイキン-7とインターロイキン-15の 産生)
論文審査委員	教授 井上 一 教授 中山 睿一 教授 辻 孝夫

学位論文内容の要旨

T細胞増殖因子であるインターロイキン-2 (IL-2)の産生を欠く慢性関節リウマチ(RA)滑膜病変部において、多彩な機能を有する線維芽細胞様滑膜細胞がIL-2に代わる他のT細胞増殖因子を産生しうるかどうかを検討した。RA由来の線維芽細胞様滑膜細胞は無刺激下でIL-7とIL-15を産生し、その産生はIL-1 β , TNF- α で有意に増強された。IL-7の産生はRA滑膜マクロファージ分画、T細胞分画で認められないことから、その産生細胞は線維芽細胞様滑膜細胞のみであることが推測された。IL-7とIL-15は共に滑膜浸潤T細胞の増殖を濃度依存性に増強し、IL-15は同量のIL-2の作用を上回るT細胞増殖誘導作用を示した。以上より、RA線維芽細胞様滑膜細胞はIL-15を産生することでT細胞の増殖・活性化を誘導し維持している可能性が示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は慢性関節リウマチ (RA) のIL-7, IL-15産生がT細胞増殖因子となりうるかを研究したもので、従来不明であったRA滑膜線維芽細胞がIL-15を産生することでT細胞の増殖・活性化を誘導することを明らかにしたものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。